

第41期第4回常任幹事会議事録

日時：2021年2月18日（木）

18:00～Zoomにて開催

議長：山田（全農林）

副議長：青野（環境研）、今橋（産総研）

事務局長：川中（産総研）

事務局次長：小滝（全農林）、児玉（農林）、大脇（地理院）

常任幹事：竹之内（全農林）、北川（産総研）、川嶋・高倉・田崎（環境研）、坪井（気象研）、栗原（高工ネ）、松本（物材研）

議事録担当：北川

1. 報告事項

(1) 2021.01.15～2021.02.18の活動報告

① 01.21（木）2021年新春旗開き

初のZoom会議での開催。18名参加

② 02.13（土）茨城労連21年度総会（参加者：大脇、山田）

活動報告・会計報告、次期活動方針等の活発な議論がされていた。原発についての話題が多く、東海村の原発の再稼働に向けた試運転に合わせて、適切に活動していくための議論が行われた。

③ 02.13（土）原水禁国民平和大行進県実行委員会総会（参加者：児玉、小滝）

核兵器禁止条約批准に向けての運動について

日本政府に向けて批准請願の署名を行うことが議論された。

地域に応じた運動をしていく。宣伝カーを用意しておく。

原水禁運動の歴史の話があった。

3月に県南実行委員会開催予定。

3/11に関連のオンライン会議が行われる。

④ 02.18（木）第3回独法対策委員会

欠席。委員会の情報は集めておく。

⑤ 02.18（木）第4回常任幹事会

(2) 各単組・各担当からの報告

① 単組報告

・物材機構

弊所での3, 4件目の新型コロナウイルス感染が発生しました, 幸い, クラスタは発生してはおりません. 物材機構組合から提出致しました, 2件以上の公益法人等に対する運営費交付金による会費支出要求は認められませんでした, 弊所内研究者会議においても, 全職員に対するアンケートが実施されるなど, 今後もこの要求を継続していくこととなりました. 学研労協幹事会議でいただきました

情報は、今後も活用させていただきます。処遇及び労働環境に関する 3 件の要求を提出致しました。
①協約である裁量労働制の実施に関する同意書の遵守、本人の同意なく年棒制を適用しないことの確認、②定年制職員の定年を 65 歳まで延長、③退職者が希望する研究部門に研究部門の経済的負担なく配属できるように、再雇用制度の見直し。

Q：所内研究者会議とはどういう会議か。

A：物材機構内の選ばれた研究者で構成する会議で、所が認めたもの。全研究者の代表の位置づけ。
選ぶ方法は選挙ではない。職場の問題を上げて検討する仕組みで、議事録もあり、オープンな組織である。所側が研究者の要望を吸い上げようとしていると思われる。

・高工ネ研報告

●2022 年 4 月導入予定で、労働時間制の見直しが議論されている。変形労働時間制をなくし、裁量労働時間制でシフトを可能にする。さらに、フレックスタイム制、スパー・フレックスタイム制を導入。現在、情報収集を行っている。

●原則有期雇用 5 年上限廃止を要求して、労使交渉申し入れ中。

●「組合キャラバン」と称して、未組合員に組合の説明・勧誘を行っている。

→勧誘の参考にしたいので、「組合キャラバン」で使っている資料を見せて欲しい

・産総研

分会懇談会を行っている。昨年までは役員が地域センターにも出かけて行って情報交換していたが、今年は Zoom などオンラインにて情報交換をしている。春季要求を取りまとめているところ。

組織拡大の取り組みの一つとして、組合員向けに労組に入会した理由やきっかけを聞くアンケートを実施中である（過去に、労組に入会しなかった人の理由を聞いたことはあった）。

技術情報の漏えいに対する懲戒手続規程の改定、長期評価を廃止して能力評価が作られる制度変更、年末に行われた懲戒処分に関連する話題などを紹介した。

・全農林

組織再編を含んだ第 5 期中長期目標・計画策定が進んでいる。組織再編に伴い、勤務地の変更も起こりうる。質問を出すことはできるが、情報が伝えられるのが遅いことが一番の問題である。理事長肝いりの基盤技術研究本部や NARO プロジェクトが創られる。重点配分が行われるが、関われない人には予算が少なくなる。組織再編が行われるが、その内容が不明であるため、すでに外部との契約時の名義などで問題が生じている。

・気象研

署名の協力をお願い。

・山田議長と川中事務局長の議論

コロナ禍で、学研労協でも何か支援活動ができないか。

→カンパなどは可能。炊き出しは3・11の時にやっている。ただし、これらは各単組が行ったことである。今の学研労協の予算を使って何かやるのは無理だが、各人が持ち寄ってやるのは可能。

②各担当報告

なし

③他団体関係報告

なし

2. 審議事項

① 公務員宿舎に関する要求書の提出と交渉について（2/19に茨城国公/野尻さんへ報告）

- ・要求書（案）の追加・修正等についての意見交換

追加要求項目「宿舎管理人が関連の法令規則と契約を遵守して適正な宿舎管理業務を行うように、委託業者を指導すること。」

管理人の仕事振りが不適切と思われる事例がある。要求書では苦情の窓口を明確にすることを求めるのが良いでは。そして個々の問題が起きるたびに、苦情の窓口に伝えれば良い。

管理費の増額については、関東財務局水戸事務所よりも上に権限があるので、増額の要望を出すことを要求するのが良いのでは。

外国人の入居に関することは、関東財務局ではなく、入居先を決める各研究所に要求を伝えるのが良い。例えば、入居ガイドの英語版やその他の言語版があるか。なければ用意するように求める等。

・日程について：関東財務局水戸事務所から、下記の2案の提示がありました。都合の良い日を検討してください。また、当日参加される方をお知らせください。

過去は議長と事務局長が参加している。

*3月15日（月）15：00～ 山田、川中

(2) 他団体関係

なし

3. 今後の予定

① 02.19（金）第1回メーデー実行委員会

② 02.26（金）2021年春闘学習会

日 時 2021年2月26日（金）午後6時～午後9時（予定）

開催方法 Zoomによるオンライン会議

内 容 2021年春闘の現状と課題

- ・国公労連による情勢分析
- ・独立行政法人における春闘（雇い止め問題、定年延長など）
- ・各単組の情勢報告、意見交換、交流など

③ 03.18（木）第5回常任幹事会（独法対策委員会が03.18の場合は03.19(金)に変更）

4. 添付資料

- ① 公務員宿舎に関する要求書（案）
- ② 公務員宿舎アンケート回答（全農林）
- ③ 公務員宿舎アンケート回答（環境研）

次回常任幹事会（オンライン会議）

3月18日（木）18:00～